

ほんじつ ほん 本日のおすすめの本③9

がっこうとしょかん ほん
～学校図書館だより号外～



ブックマ

令和2年10月21日

横浜市立本牧南小学校
学校司書 青木美佳

そら と にじゅうめんそう 『空飛ぶ二十面相』

江戸川乱歩 著 2005年初版 ポプラ社 貸し出し可(9の善棚)



日本の推理小説の代表的な作家である江戸川乱歩は、自分自身が探偵事務所で働いていた経験を生かして、物語の謎を科学的に解き明かしていきます。

一見、奇妙で難解といわれる事件も、主人公の「明智探偵」と少年たちが気持ちよく解決していきます。

すべての謎が解けたときの爽快感は、子どもから大人まで楽しめ、「あ～なるほど！そうだったのか！」と叫びたくなりますよ。

ちょっとこわくて、ドキドキハラハラ・・・そして、ちょっと難しいけど、これぞ「ミステリー」といった本を、読書の秋だからこそ読んでみましょう。

江戸川乱歩のシリーズは学校図書館にたくさんあります。あなたにぴったりの「ミステリー」をさがして、わくわくしてみませんか。

ストーリー紹介

ネジのように光の尾がグルグルまわっている奇妙な星が地球に接近することから、この物語が始まります。「R すい星」と名づけられたその星は、地球に衝突するのではないかと、大騒ぎになりました。

そんなさなか、大きなカニの形をした怪物が自撃されるようになります。

「R すい星」からきたというそのカニ怪人は、書庫に嚴重にしまわれていた仏像を盗んでしまいます。しかも、大勢の人がとりかこんでいたその書庫から、けむりのように消えてしまうのです。

さらに、カニ怪人は、少年探偵団の一員である井上君の姿を見えなくしてしまったり、美術館の美術品をあっという間に奪ってしまいます。

「これは、人間のしわざではない！」と、だれもがそう思うようになります。

でも、この魔法のような なぞだらけのできごとを、探偵の明智は、一つ一つ解明してくれます。それは決して魔法なんかではありませんでした。

探偵の明智はどのように謎を解いていくのでしょうか？

少年探偵団のみんなは、明智探偵の推理に感動します。

わたしたちも少年探偵団になったつもりで、わくわく読み進められますよ。(本にはふりがながついていますが！) ぜひ読んでみましょう。



江戸川乱歩は1894年10月21日生まれ。
明治から大正の時代にかけて活躍した日本の「推理小説」の第一人者です。みんなが大好きな「名探偵コナン」の作者も大きな影響を受けていますよ。

